

は じ め に

群馬大学共同教育学部附属小学校長 吉田秀文

今年度から新しい学習指導要領がスタート致しました。これに伴い、今年の研究テーマを「未来を拓く子どもの育成～『見方・考え方』を働かせて協働的に学ぶ学習指導の在り方～」と設定しました。教科指導は、子ども・教師・教材・学習環境の4者が適切且つ綿密な計画で配置され、相互補完的に関連し合うことで学習成果が期待できると考えます。今日、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ここに集うすべての方々の安全を第一に考え、同時に上述の教科指導の実践を十分に果たすことが困難であると判断し、甚だ残念ですが中止を決意致しました。

その一方で、本校では、昨年の公開研究会での成果と課題を踏まえ、各教科等部が提案する授業実践を通して、教科等の理論的側面について検討を行いました。特に、「教科を学ぶ本質的意義」を熟考し、「見方・考え方」にプラスαを付記することを、研究企画委員会を中心に教職員が一体となって試みました。そこでは豊富な知見を有する学部教員からのご指導やご助言を仰ぎ、共著としてより一層の連携を果たすことができました。また、別冊では「プログラミング教育実践事例集」を作成しました。これは昨年度より、群馬大学数理データ科学教育研究センターのご指導、ご協力によって蓄積した実践研究の成果を掲載しました。ICT機器の活用を通しての授業実践をはじめ、ICT機器に直接頼らないプログラミング的思考の方向性等も検討しました。これら2つの冊子を通して成果や課題が広く共有され、子どもたちの成長・発達に寄与するために、様々なご意見やご要望等を頂戴できると幸甚です。

さて、未だ新型コロナウイルス感染症の猛威が収まりません。自然の驚異を思い知らされ、途方に暮れる人間の弱さを感じます。この事態の一刻も早い終息を願うとともに、第一線で励まれている医療関係従事者への感謝を申し上げたいと思います。そして、今こそ「教育」の意味を再考する必要があると考えます。「教育」は主に英語のeducation（導く、引き出すなど）が使用されますが、ドイツ語のbildung（教養や形成、陶冶など）としての意味も重要です。教育の目指すところは、子どもの人間的成長であり、人格の形成、自己の実現や他者の理解、互助の精神、畏敬の念だと考えます。目先の経済至上主義に捕らわれず、真なるもの・善いもの・美しいものを追求する生き方を願いたいです。また、先人達の偉業を再認識して歴史に学びたいと思います。状況に応じて改変することは大切ですが、普遍的な文化や事象を継承していくことには価値があると考えます。むしろ肝心なことは、変えるもの・変えないものに対する正確な判断です。本校のシンボルである大きなくすの木のように、根をしっかりと張り、揺るぎない信念で臨みたいと考えます。

最後に、今年も群馬県教育委員会及び市町村教育委員会の先生方をはじめ、群馬大学共同教育学部及び数理データ科学教育研究センターの先生方から貴重なご指導・ご助言等を頂戴しました。教職員を代表いたしまして厚くお御礼申し上げます。誠にありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。